

Ⅲ 健やかな体に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○コロナ禍で様々な制約がある中、子どもの意欲を引き出す工夫をして頂きありがとうございます。特に運動会は、家庭でも楽しそうにダンスに取り組み、また他の学年の演技にあこがれて真似したりしていました。分散開催ではありましたが、充分行事として実りあるものだったと思いました。
○分散登校等コロナの影響で運動の機会が減ったからか、運動会練習後は筋肉痛だと言う事が多かったですが、ダンスの練習を自宅でも熱心に取り組み、楽しく体力アップできました。
▲緊急事態宣言中の学校での外遊びについて、外遊びが禁止されていた様ですが、本当にそれが感染症対策になっていたのか、子どもの心身の成長を引き換えにしてでも行う必要があったのか、学校で検証をしていただきたいです。そして、今後の対応に反映を希望します。
【考察】
今年度は、感染症が拡大し分散登校となったときに、感染症対策のガイドライン（接触や激しい呼気を伴う運動を控えるよう明記）に従い、一定期間外遊びをしない方が良く判断した時期がありました。子どもたちにとって、体育の時間が減り外遊びもできない期間は、心身ともにストレスフルな状況だったと思いますが、状況が目まぐるしく変わる中で、その時々において最善だと思われる対応をしています。その中で、分散であっても運動会を開催できたことはとても良かったと思っています。運動会に向けての活動では、子どもたちが普段よりも、主体的に運動に取り組めました。
本校は比較的外遊びをする児童が多く、休み時間には運動場で鬼ごっこやドッジボールなどを行っている姿が多くみられます。また、西富タイムには各クラスで遊びを考え、教員も一緒に遊んでいます。走ること、投げることについては、新体力テストの結果を注視しながら、引き続き向上できるよう努めてまいります。

Ⅳ いじめへの対応に関して VI 特別支援教育に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○友達との関係のことで、少し気になったことがあり連絡帳で先生にお伝えしたところ、迅速に対応してくださいました。子どもにとっても保護者にとっても大変心強かったです。
○子どもの姿をよく見てくださり、その子に合った声かけをしてくださっていると感じられます。先生方に見守られ安心して学校生活を送る中で、意欲や自信をつけていっているように思います。
▲子供は日頃の先生方の何気ない発言や態度にいちいち傷付いたり、喜んだりしているという事を常に忘れないで接していただきたいと思います。
▲設問Ⅳ－２の定期的なアンケートは定期的実施されているのでしょうか。フィードバックがないので、実施されているのか疑問に感じました。
【考察】
この２項目は「わからない」という選択が多くありました。保護者の皆様に、学校での対応が伝わっておらず今後改善していきたいと思っております。今年度、12月までに2回、全児童へのアンケートを行い、困っていることがないかを把握し解決に向けて対応をしています。一つでも困りごとがあると答えた児童には、個人的に話を聞き対応をしています。児童間のみでの話で済むと判断した場合には、保護者の方にご連絡をしないこともありますが、ケースによっては連絡させていただいています。今後、学校だより等を通して、いじめ防止・特別支援教育の取り組みについてお知らせしていければと考えています。また、大人の行動の一つ一つが、子どもの心の成長に大きく影響するということを肝に銘じ、温かいかわりをしていけるよう、職員同互いに声を掛け合っていきたいと思っております。児童アンケート「こまったとき相談できる（話せる）友達がいる」「こまったとき相談できる（話せる）先生がいる」の項目は、他の項目と比較し「そう思う」「少しそう思う」が少なくという結果になっています。話しやすい環境をつくることは当然ですが、相談の窓口（児童支援専任・養護教諭・いじめ110番など）を広げられるよう、情報発信を行っていききたいと思っております。

Ⅴ 地域連携に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○生活科の授業でパン屋さんへ行って、仕事を見たりオリジナルのパンを考えたりしたことで”仕事”について考えるきっかけになりとても良かった。
○コロナ禍で様々な制限がある中でも、消防署見学や運動会など、本来子供達が学校教育を通じて学習したり体験したりする事をできるだけ多く実施して下さり、ありがとうございます。
▲地域交流はコロナ禍で難しいかもしれませんが、少しずつ増えると良いなと思っております。
【考察】
感染症対策のために、学校行事に地域の方をお呼びすることがなかなかできませんでした。状況が改善されてくる中で、生活科や社会科では、地域のお店や消防署に見学に行ったり、警察の出前授業をお願いしたりすることができました。社会に開かれた学校、地域と共に歩む学校を実現するためにも、地域の方のお力をお借りするとともに、学校も地域と積極的に関わっていきたいと考えています。来年度、学校運営協議会・地域学校協働本部を発足させます。学校と保護者、地域の皆様とて力を合わせて学校の運営に取り組んでいきたいと考えています。社会のつながりの中で学ぶことで、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感をもつことができます。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、今後とも取り組んでいきたいと思っております。

Ⅶ 安全管理に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
▲自転車や徒歩での町内の移動中に公園以外での公道で遊ぶ（ブレイブボード等）児童をよく見かけます。交通安全等の指導の際に公道で遊ばない。という事を改めましてご指導頂けたらと希望しています。
▲登校の様子…子どもたちが道路いっばいに広がっていてあぶないです。旗持ち当番のお母様も多いですが、注意する様子もなく…学年や学級の指導はもちろんですが、校外委員会でも取り上げてほしいです。集団登校時はきちんと歩けているので、家庭でもしっかり指導していくべきだと感じています。
【考察】
「学校は、避難訓練及び学年に応じた安全教育（交通安全教室・感染症対策等）を通して、子どもたちの「自分の命は自分で守る」という意識を高めていると思いませんか」では、「そう思う」「少しそう思う」が90%、児童への設問「普段から『自分の命は自分で守る』という意識（考え）をもっている」は、「そう思う」「少しそう思う」が95%と高い数字でした。安全に気を付けて生活をしている意識はとても高いという結果になっています。しかし、ご意見にもあるように、交通ルール、マナーに関しては、しっかりと守られていない場面があることも確かです。一瞬の気のゆるみが大きな事故につながります。学校では、下校時に教員が校門まで見送ることにしました。児童を車で送り迎えする際は、危険ですので校門前ではなく離れた場所から降り降りするよう改めてお願いします。子どもに関わる全ての大人が協力し、安全を守っていききたいと思っております。ご家庭でも、もう一度交通ルールをしっかりと守るようお声掛けをお願いします。

その他
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○コロナ禍で制約も多く感染対策も大変な中、様々な活動や行事を行って下さり本当に感謝しております。いつもありがとうございます。
○感染症対策など新たな対応が求められる中で、様々な工夫をして実施頂き、ありがとうございます。説明会や懇談会のZOOM開催は、平日勤務している者にとって、非常に助かりました。今後とも継続して頂ければと思います。
▲学校生活の思い出になるような、又は様子のわかるような写真を一枚も見れていないのが残念です。学年始めのクラス集合写真以外、何も無いので、子供自身が成長した時に学級の様子を思い出させるような形のものがあると良いと思います。学校日記（ウェブサイト）も発信されていないようですし、親としても、もう少し学校での普段の様子をイメージできるような形があると、更に子供の家での報告が理解しやすくなると思います。色々コロナ禍でイベントも限られる中、実施して下さった遠足も写真（購入）のご提供があれば嬉しかったなあと思います。
▲ICTについて、今後の子ども達の生きる世界のことを考えると、より積極的・能動的な取り組みが必要なのではないかと感じます。9月中の取りくみを見ても、よりアクティブな活用についてご検討願えればと思えました。また、教育活動とは少し趣きを異になるとは思いますが、このアンケートを含めた学校と家庭との連絡についてもロイロノートやオンラインアンケートの積極的な活用をお図り頂ければと思います。
▲全て子供に聞いて、教えてもらい記入しました。そうしなければ、全てEに丸をつけるころでした。つまり、学校が取り組まれている内容を知る材料が父兄に届いていないという事です。学校と父兄とが情報を共有できるようにして頂けると有り難いです。
▲ランドセルの重さが気になりました。特にこの一年は、弁当に個人用iPadで更に重くなっていました。その時々で、柔軟に対応し改善策がとれる様、学校で工夫をして頂ければと思います。
▲このようなアンケートは無記名での提出方法が良いと思います。

【考察】
感染症対策として取り組んできたことでも、続けていった方が良く思うものは、来年度以降も行っていこうと考えています。体験学習の説明会などは、ZOOM等でお伝えすることができると考えています。対面でなければならぬもの、対面であった方が良く、リモートのほうが良いものなど、一つ一つ精査し対応していきます。また、この「学校教育の振り返りシート」の集計は、来年度以降オンラインアンケートを実施する予定です。
振り返りシートを集約する中で、学校の様子が分かりづらいというお声をいただきました。感染症対策のために、学校にお越しいただく機会が減ったことが一番の要因だと考えています。感染症の状況を見て、できる限り学校に来ていただける機会をもちたいと考えています。また、学校からの情報発信を増やしたほうが良いというご意見も寄せられています。それを受け、学校ホームページをリニューアルいたしました。学校の日常を皆様にお伝えできるよう、「学校日記（ウェブサイト）」を更新していきますので、ぜひご覧ください。
お寄せいただいた意見には、それぞれのメリット・デメリットを考え、子どもの成長に何が大切かを考え方針を決めていきたいと思っております。今後とも、多くのご意見をいただければ幸いです。
匿名アンケートのメリット・デメリットを考えた結果、西富岡小学校では記名アンケートを採用しています。共に西富岡小学校の教育を創っていくという視点に立った時、現実的なご意見を集めやすく、出てきた課題に対してフォローアップしやすいと考えているからです。